

「タイ」國代表「ワンワイタヤコーン」內閣總理大臣代理殿下ノ
一般的所見（翻譯）
（十一月五日）

「タイ」國政府ハ日本國政府ノ發セラレマシタル今回ノ大東亞會議ニ對スル參加招請ヲ欣然受諾致シマシタ、ソレハ、「タイ」國政府ハ、本會議ガ大東亞戰爭ヲ所期ノ如ク完遂セシムルト共ニ、恒久ニシテ繁榮已ムコトナキ大東亞共榮圈ヲ確立スル上ニ於テ最モ有效ナル結果ヲ招來スベキコトヲ確信スルカラデアリマス、尙「タイ」國內閣總理大臣「ピー・ピブン・ソンクラム」元帥閣下ハ、現在ノ健康狀態ガ東京ヘノ長途ノ旅行ヲ許サズシテ、自ラ本會議ニ列席出來ナカツタコトヲ頗ル遺憾トシテ居リ、從ツテ元帥ハ私ニ命ズルニ其ノ代理トシテ本會議ニ參列スルコトヲ以テシタ次第デアリマス。

大東亞戰爭遂行ト大東亞共榮圈ノ建設ニ關スル「タイ」國政府ノ所見ハ既定ノ方針、特ニ日「タイ」關係ノ

基本方針ニ準據セル現在ノ方針ヲ以テ極メテ妥當ナルモノト爲スニ在リマス、當面ノ問題トシテハ、現存ノ友好關係、協力並ニ十分ナル了解ヲ一層増進致シマシテ、物的心的ノ力ヲ結集一體化シ、以テ戰爭遂行ト大東亞共榮圈建設トヲ成功ヲ以テ完成ニ導クベキモノト考ヘル次第デアリマス。

私ノ所見ハ大東亞興隆ノ歴史ニ依ツテ裏書サレルモノト考ヘマス、即チ亞細亞大陸ハ人類發達ノ源デアリマシテ、太古ヨリ非常ニ高度ニ發展ヲ遂ゲテ來タノデアリマス、而シテ斯クノ如キ發達ハ人類ノ心ニ輝キ、人類ヲシテ平和ト幸福トヲ求メシメル清キ光デアリマシテ、正義ノ基礎ノ上ニ樹立セラレタル友好ト好意トヨリ成ルモノデアリマス、是コソ國教トシテ佛教ヲ信奉スル「タイ」國民ニ固有ナル發展ノ原理デアリマス、而シテ此ノ發展ノ原理ハ、同時ニ一般亞細亞國民ニ依ツテ傳統的ニ保持サレル文化ノ原則デモアリ、換言致シマスレバ、亞細亞ノ原則ニ從フ發展コソ眞ノ文化ナノデアリマス、此ノ事實ハ『光ハ東方ヨリ、法律ハ西方ヨリ』ト云フ諺ガアルコトニ依ツテモ明白デアリガ如ク歐洲人ニ依ツテモ認メラレテ居ルコトデアリマス。

歐洲ノ發達ハ之ト異ナツタ形ヲ採ツテ居リマス、即チ物質的進歩ノ促進、言ヒ換ヘルト、國家ト經濟力トノ發展ヲ目的トスル文明ノ形式ヲ採ツテ居リマス、之ガ爲ニ近代世界史ノ上ニ於テ、歐洲諸國家ハ歐洲カラ外ヘ發展シタノデアリマス、特ニ二世紀前ヨリ英國ト米國トハ大東亞地域ニ進出シ來リ、或ハ植民地トシ、或ハ原料獲得ノ獨占的地域トシ、或ハ自己ノ製品ノ市場トシテ領土ヲ獲得シタノデアリマス、從ツテ

大東亞諸民族ハ、或ハ獨立ト主權トヲ失ヒ、或ハ治外法權ト不平等條約トニ依ツテ其ノ獨立及ビ主權ニ種々ノ制限ヲ受ケ而モ國際法上ノ互惠的取扱ヲ得ル所ガナカツタノデアリマス、斯クシテ亞細亞ハ、政治的二結合セル大陸トシテノ性質ヲ喪失シテ、單ナル地理的名稱ニ墮シタノデアリマス。

斯カル事態ヨリ生ジタル苦惱ハ、廣ク大東亞諸國民ノ感情ト記憶トニ永ク留ツテ居ルノデアリマスガ、大日本帝國ハ先見ノ明ヲ以テ、現代世界ノ進展ハ、其ノ手段ニ於テ西洋文明ニ據ラナケレバナナイト同時ニ、又東洋的文化原則ニ信倚スル必要ノアルコトヲ洞察セラレタル結果、其ノ發展ノ形式ヲ現代式ニ調整シ、治外法權ヲ撤廢サセ、急速ニ一大強國ノ地位ニ躍進セラレタノデアリマス、「タイ」國モ亦之ト同一ノ道ヲ歩ミ來ツテ居ル次第デアリマシテ、幾年カノ歲月ヲ費シ、不斷ノ努力ヲ以テ治外法權ヲ撤去シ、首尾良ク獨立ト主權トヲ再ビ獲得シタノデアリマス、併シナガラ亞細亞ニハ、其ノ獨立ヲ回復シ、其ノ主權ヲ再建センガ爲ニ、尙鬪フヲ要スル姉妹國ガ幾ツカアルノデアリマシテ、此等ノ國ハ、假令完全獨立及ビ主權獲得ノ目的ヲ達シマシテモ、尙經濟的二申シマスレバ自國民ノ公正ナル要求ニ副ツテ發展ヲ遂ゲル自由ヲ持タヌ實情ニ在ルノデアリマス。

洵ニ大東亞ハ豐穰ノ沃土デアリ、自給自足ノ原則ニ基キ、此ノ地域ヲ共榮發展セシムルニ足ル自然資源竝ニ產業立地條件ヲ有シテ居ルノデアリマシテ、其ノ結果、日本帝國ハ八紘一字ノ理想ニ遵ヒ共榮圈ヲ樹立シ、正義、公正及ビ平和ノ基礎ノ上ニ立ツ一家ノ如キ結束ヲ齎サントスル政策ヲ採リ、之ガ遂行ニ當

ツテハ、「タイ」佛印紛争ノ際ノ例ニ見ルガ如ク平和的手段ヲ用ヒテ居ルノデアリマス、即チ「タイ」國ハ領土喪失ニ基ク忿意ヲ除去セル友好關係ヲ兩國間ニ打ち樹ツル爲、喪失領土ノ一部ノ返還ヲ佛國ニ要求シタノデアリマスガ、幸ニモ日本政府ハ之ガ調停ニ同意セラレ、遂ニ正義ニ立脚セル協定ニ達スルヲ得タノデアリマシテ、斯カル日本ノ好意ハ「タイ」國民ノ夢寐ニモ忘レ得ザル所デアリマス。

併シナガラ日本ノ斯カル平和的手段ニ依ル國策遂行ハ、米英ガ加ヘ來ツタ種々ノ障礙ニ依リ成功ヲ見ズ、茲ニ大東亞戰爭勃發ノ已ムナキニ立至ツタノデアリマスガ、日本皇軍ノ輝カシキ大戦果ハ、牢平タル土臺ノ上ニ大東亞共榮圈ヲ樹立シ得ベシトノ希望ヲ生ミ、全亞細亞民衆ノ胸ヲ歡喜ニ滿チ溢レサセテ居ルノデアリマス。

「タイ」國ハ過去數百年間日本ト密接ナル友好關係ニ在リ、此ノ關係ハ益々緊密ノ度ヲ加ヘ來ツタノデアリマシテ、「タイ」國ハ日本ノ崇高ナル目的ヲ十分ニ了解シ、内閣總理大臣閣下指導ノ下ニ直チニ日本ノ同盟國トシテ協力シテ來マシタコトハ、大東亞共榮圈ノ樹立ト之ヲ妨ゲル所ノ不埒ナル勢力ノ一掃トヲ主要目的トシテ日「タイ」兩國ガ締結シタル兩國間ノ同盟條約ニ依ツテモ明白デアリマス、該同盟條約ノ根本方針ハ、(一)獨立及ビ主權ノ相互尊重ヲ基礎トスル同盟關係ノ設定、並ニ(二)兩國ノ有スル有ラユル政治的、經濟的及ビ軍事的手段ニ依ル相互援助デアリマス。

軍事の二ハ「タイ」國軍隊ハ日本軍ト協力致シマシテ、克ク勇敢頑強ニ闘ヒ、所期ノ成功ヲ收メタノデア

リマシテ、更ニ窮極ノ勝利ヲ獲ル迄戰爭遂行ノ爲ニ種々ノ犠牲ヲ拂フ用意ガアルノデアリマス、經濟的ニハ「タイ」國ハ既ニ日本ト十分ニ協力致シテ居リマシテ、此ノ點ニ於テ「タイ」國ガ日本ニ援助ヲ求メルトスレバ、ソレハ戰爭完遂ノタメ其ノ經濟力ヲ維持スル上ニ於テ必要トスルモノニ限ラレテ居ルノデアリマス、尙「タイ」國ハ自國ノ文化ヲ宣揚シテ、戰爭遂行ノ爲克ク國民ヲシテ一德一心精神の二團結セシメ、同時ニ日本ト文化協定ヲ締結シ、兩國國民ノ精神の紐帶ヲ強化セシメタノデアリマス、精神ハ亞細亞文明本來ノ特色デアリマス、而シテ戰爭デ終局ノ勝利ヲ收メル最モ重大ナル要素ノ一ツハ此ノ精神力ナノデアリマス。

政治的ニハ日「タイ」兩國ノ友好關係ハ最モ密接ナル狀態ニ在リマシテ、相互ニ能ク諒解ヲ遂ゲテ居リマス、日本國政府ハ宏量、克ク「タイ」國ノ失地回復ト民族力結集ノ國民的要望ニ同情サレタノデアリマス、斯クテ日本政府ハ「マライ」四州及ビ「シヤン」二州ノ「タイ」領編入ヲ承認スル條約ヲ締結サレタノデアリマス、是實ニ日本ハ「タイ」國ノ獨立及ビ主權ヲ尊重スルノミナラズ、「タイ」國ノ一致團結ト國力ノ増進トヲ圖ラレタコトヲ證明スルノモデアリマシテ、「タイ」國官民ハ日本國官民ニ對シテ深甚ナル感謝ノ意ヲ表スル次第デアリマス。

日本ハ、「タイ」國ニ對シテ示シタ好意ト同様ナ好意ヲ、大東亞ニ於ケル各國ニ對シテ、ソレノ事情ニ應ジテ示シテ來タノデアリマス、一例ヲ申上ゲレバ、日本ハ中華民國ガ完全ナル主權ヲ回復スルノヲ援助シ、滿洲國、「ビルマ」國並ニ「フィリピン」國ノ獨立ヲ支援シ、更ニ獨立獲得ヲ目的トスル自由印度假政府樹立ヲ

援助致サレタノデアリマス、「タイ」國ハ此等ノ成果ヲ欣快トシテ衷心ヨリ支持スル次第デアリマス、何トナレバ「タイ」國ハ長イ間此等ノ諸國ト友好善隣關係ヲ有シ、文化的紐帶ヲ持續シテ來タカラデアリマス。今ヤ大東亞ハ最早單ナル地理の名稱デナク、確平タル基礎ノ上ニ立ツ共榮圈ヲ意味スルコトナツタ以上、大東亞各國民ノ大事業ハ、戰爭遂行上相互ニ協力シ、以テ絶對的成功ヲ收メ、各國民ガ其ノ有スル總力ヲ舉ゲテ全體ニ共通ノ利益タル共榮圈ノ恒久的確立ノ爲ニ、寄與スルコトデアリマス。

大東亞ニ恒久的繁榮ヲ齎ス根本の方針ハ、相互ノ獨立ト主權トヲ尊重シ、互惠ノ基礎ノ上ニ立ツテ相互ノ經濟關係ヲ増進シ、正義ニ基キ相互ニ協力援助シ、以テ物質的の道義的及ビ精神的の力ヲ含ム各國ノ國力ヲ最高度ニ増進シ、各國及ビ大東亞全域ノ平和、幸福及ビ繁榮ヲ確保スルニ在ルノデアリマス。

斯クノ如クニ致シマシテ、大東亞諸國ハ各其ノ自國ノ文化ノ線ニ沿ツテ發展ヲ遂グルト同時ニ、本共榮圈ノ福祉及ビ發展ノ昂揚トイフ共同目的ヲ追求スルコトナリマセウ、大東亞諸國ト爾餘ノ世界各國トノ關係ニ付イテ申シマスナラバ、一般友好關係ニ於テモ、將又通商又ハ文化關係ニ於キマシテモ、以上ノ原則、特ニ獨立及ビ主權尊重ノ原則並ニ互惠ノ原則ニ依ルコトガ肝要デアリ、斯クシテこそ世界平和ハ確乎不拔トナルノデアリマス。

科學知識及ビ近代文明組織ノ手法ヲ利用シ、亞細亞文化ヲ進歩ノ一要素タラシムルコトニ先鞭ヲツケタノハ大日本帝國デアリ、斯クシテ大東亞共榮圈ハ擡頭シテ參ツタノデアリマス、依テ私ハ本國政府ノ名

ニ於テ、日本政府ニ對シ茲ニ深甚ノ満足ト謝意トヲ表スル次第デアリマス。

最後ニ「タイ」國內閣總理大臣「ピ・ヒブン・ソクラム」元帥閣下ノ名ニ於テ、此ノ歴史的會議ガ成功裡ニ議事ヲ了シ、以テ大東亞ノ安固ト繁榮トヲ更ニ増進センコトヲ祈願致シマシテ、私ノ所見ヲ結ビタイト思ヒマス。